

【様式1】

令和2年度 学校自己評価書

学校名《 木曾岬小学校 》

※評価は、評価指標に基づいたアンケート等の結果により、以下の4段階で記載しています。

- 4 できている (80%以上)
- 3 概ねできている (60～79%)
- 2 どちらかというとできていない (40～59%)
- 1 できていない (40%以下)

※【】は2019年度

<基本方針の~~㊦~~㊦㊦㊦について>

㊦ 希望や目標に向かって努力し、自ら考え、学ぶ子ども（知育）

① 確かな学力の育成、学ぶ意欲の醸成、園・小中の一体的な学びの実現	4・ 3 ・2・1
評価指標 (アンケート結果等)	児：授業はよくわかりますか。⇒92.6【93.2】 児：読書は楽しいですか。⇒79.8【81.4】 教：学校全体の取組（朝の読書・図書館まつりなど）十分に取り組めたか。⇒92.9【90.5】 教：クラスや学年独自で子どもを読書に向かわせる取組を十分できたか。⇒72.7【78.9】 教：『読書登山』の取り組みはできたか⇒63.6【65.0】 教：主体的で対話的な授業実践に努めたか（授業時間での児童の活動の充実・教師が話しすぎない!）⇒64.0【75.0】 教：朝の学習で基礎・基本や授業での活用力の育成の学習に確実に取り組めたか（三重のワークシート含む）⇒71.4【87.5】 保：学校は、基礎的・基本的な知識を定着させる指導をしている。⇒89.5【88.7】 保：以前（昨年度）に比べて読書をするようになった⇒47.2【48.7】
成果と課題、今後の取組	・今年度は、『新型コロナウイルス感染防止』による影響が大きく、児童が密になることや授業でペアやグループ学習の形態をとることができないなど多くの制約があった。今後も『考えを持ち、伝え合う』学習や効果的な少人数教育の在り方などの授業改善の取組をよりいっそう進め学力向上を目指していきたい。 ・基礎的・基本的な知識の定着が図れていると感じている保護者が多く、児童の解答にも表れており、教師の日常的な児童へのみとりの表れであると考え。 ・今年度は、『読書登山』の本の紹介を教師が2回行った。担任と違う教師が行ったので、児童には新鮮であったと思われる。 ・保護者から見て子どもが読書をしている様子が低いので、さらに『読書活動』について取り組んでいきたい。 ・今後とも、みえスタディチェックの過去問題や三重の学VIVAセット、活用力育成のプリントを効果的に使い、児童の活用力を高めていく必要がある。

② 一人一人を大切にした教育の推進		4 3・2・1
評価指標 (アンケート結果等)	<p>児：少人数やT Tでの学習の方が勉強がよく分かりますか⇒90.9【92.8】</p> <p>児：授業で分からないところは残さないようにしていますか⇒85.2【89.4】</p> <p>教：習熟度別学習を適宜実施できたか（全学年）⇒72.2【75.0】</p> <p>教：考えを伝え合い、学び合う学習活動の工夫が出来たか⇒73.7【80.6】</p> <p>保：学校は、きめ細やかな学習指導をしている。⇒84.0【78.1】</p>	
成果と課題、今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時の休校期間があったため、授業進度に不安がみられたが、各種行事の中止や縮小で授業時間の確保を図った。習熟度別学習を多く取り入れたことは、児童に好評であった。 ・『コロナ対策』で教員の補充があったため、休み時間や昼休みに補充学習を多く実施できた。 ・昨年に続いて、「単元別少人数指導の形態」とその効果を記録していった。今後は、この結果をもとに授業を組み、良い効果的な『少人数指導』を目指して実践していきたいと考えている。 	

③ グローバル時代に相応しい教育の充実		4 3 2・1
評価指標 (アンケート結果等)	<p>児：電子黒板などを使った授業は分かりやすいですか⇒91.8【92.4】</p> <p>児：もっと英語を学習したいと思いますか⇒78.6【85.2】</p> <p>教：ICT 機器を活用し、わかりやすい授業づくりに努めたか。⇒68.0【89.3】</p> <p>教：生徒に興味や関心が高まるような外国語活動の取組を工夫しているか。⇒88.9【85.7】</p> <p>教：研修等を通じて、指導力を高めることができたか⇒65.5【85.7】</p> <p>保：学校は情報化や国際化など、新しい教育に目を向けた取組をしている。⇒83.1【90.6】</p>	
成果と課題、今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケートでもあるように「ICT 機器を活用し、わかりやすい授業づくりに努めたか。」は、昨年比-21.3%となっている。今年度より、タブレットが導入されたが、まだ導入段階であり、授業で有効的に使っていないと感じている教職員が多いことが原因であると推察される。 ・教職員アンケート「研修等を通じて、指導力を高めることができたか。」は「新型コロナウイルス対策」の影響で、ほぼ全ての研修や研究発表が中止になった現状のため低い値と考えている。 ・今年度より『英語ルーム』を開設し授業で活用している。JTE が火・木・金曜日の20分休みに、『単元で習った英文』『暗唱（自己紹介・私のあこがれの人・私の友達）』を児童に合わせて行っている。6年生には、担任と連絡をとり、『リスニング（聞き取り）』を行っている。 ・低学年へは、ALT が『外国語活動』時間以外の「体育」や「音楽」などで教室に入り、英語で支援や安全の見守りを行った。 	

④ 特別支援教育の推進		4 3・2・1
評価指標 (アンケート結果等)	教：適宜子どもの情報を他の教職員と共有することができたか。⇒92.9【100.0】 教：子どもの困り感や子どもの成長を意識したかわりができたか。⇒89.3【90.6】	
成果と課題、今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 朝の打ち合わせや職員会議では、随時児童の情報共有をおこなうことができた。事案によっては、その都度、校内特別支援委員会やいじめ防止対策委員会を開いて情報共有や対応を検討してきた。 来年度も、年間計画に委員会を入れ計画的に実施していく。 支援が必要な子について、学年部の教職員はよく理解できているが、今後も非常勤講師などそのクラスにかかわる教職員全員で共通理解できるようにしていく必要があり、そのために今年度より職員室の机配置を考慮した。 	


⑤ 自分や他人の良さを認め、尊重し合い、思いやりのある言動ができる子ども（徳育）

① 道徳教育の推進		4 3 2・1
評価指標 (アンケート結果等)	教：『考え議論する道徳』をめざした授業づくりに努めたか⇒66.7【81.3】 教：教育活動全体を通じた道徳教育を推進しているか⇒91.7【85.7】	
成果と課題、今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 『新型コロナウイルス感染防止』のため、授業参観はなく学校公開は1回しか開催できなかった。 別葉にしたがって、教育活動全体で道徳を進めることができた。 	

② 人権教育の推進		4 3・2・1
評価指標 (アンケート結果等)	児：人間には、どの人間にも『人として生きる権利』があります。そのことはとても大切だと思いますか。⇒94.2【100】 児：自分の考えや思いを、人に伝えることができますか⇒74.5【79.9】 児：自分にはよいところがあると思いますか⇒65.8【69.6】 教：常に人権感覚を磨き、子どもと向き合っているか。⇒93.1【100.0】 教：主体的により良い人間関係を構築し、安心して学べる集団づくりができたか。⇒80.0【75.0】 保：学校は、人権を大切にする子どもを育てている。⇒89.0【82.1】	
成果と課題、今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業中に、今年度は大山田北小より講師を招聘し、『外国人児童教育』についての現職研修を実施した。今後も常に教職員の人権感覚をより磨くとともに、現状（現実、事実）が「なぜ」そうなるのかを児童の生活背景とともに丁寧に聴き取りながら取組を進めていく必要がある。 本年度も職員会議や研修会で児童の様子について毎回交流し全児童を一人一人、よりよいねいに向き合う教育に取り組んだ。 特別支援教育や特別支援学級での教育活動について、全校児童および保護者への正しい理解と啓発を今後も進めていく必要がある。 スクールカウンセラーや臨床心理士等専門家のアドバイスを受け、学校はどのような具体的な教育活動につなげるかについて、更に検討し、実践していく必要がある。 	

③ キャリア教育の推進	4 ● 3 ● 2 ● 1
<p>評価指標 (アンケート結果等)</p>	<p>児：あなたは、将来の夢や目標を持っていますか⇒86.0【-】 児：修学旅行・野外体験活動・社会見学などの校外学習や体験活動では、学びを深めることができましたか。⇒84.4【95.1】 教：目標をもって学校生活を送り、なりたい自分に近づく取り組みを実施しているか⇒75.0【-】 保：子どもは、家庭でお手伝いや家事分担をよく行っている。⇒66.2【-】 保：お子さんから学校での出来事や将来について話をよく聞き、自己肯定感を育てている。⇒80.5【-】</p>
<p>成果と課題、今後の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より四つの指標を『キャリア教育の推進』指標として加えた。 ・修学旅行では、キャリア教育の一つの体験学習を組んでいる。 ・社会見学や校外学習・郷土教育などの体験を多く積むことで地域のヒト・コト・モノにふれ、自分の生活を振り返る学習を進めている。 ・今年度より、保護者に『子どもの話をよく聞くこと』『お手伝いして家庭での役割を持たせること』をお願いしている。

④ いじめ・不登校・虐待への対応	4 ● 3 ● 2 ● 1
<p>評価指標 (アンケート結果等)</p>	<p>児：自分の考えや思いを、人に伝えることができますか⇒74.5【79.9】 児：「いじめはどんな理由があっていけないことだ」と肯定的に答えた児童の割合⇒98.4【100】 児：学校は「何でも相談できる」と思いますか⇒64.2【72.7】 教：いじめが起こっていないか子どもの日常の様子に気を配ることができたか。⇒89.3【88.5】 教：「ほう」「れん」「そう」を確実に実施し、情報共有はできたか。⇒88.9【100.0】 保：学校は、きめ細やかな生活指導をしている。⇒80.4【78.1】</p>
<p>成果と課題、今後の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰やいじめなど、子どもの人権侵害については、定期的にアンケート調査をしながら取り組んできた。また、差別発言や落書き等の問題発生時には、生活部を中心として学校全体として取り組み、職員会議等で共有し、全ての学級でともに考え合うようにしてきた。 ・いじめアンケート後に、いじめ防止対策委員会を定期的に行ったり、必要に応じて開いたり、その後の取り組みについて話し合い、職員会議で共有する場を設定した。

 健康の大切さを知り、心身を支え、より良い生活習慣を身に付ける子ども（体育）

① 健康づくり教育の推進		4・3・2・1
評価指標 (アンケート結果等)	<p>児：自分の健康や安全に気をつけて学校生活を送っていますか⇒89.7【92.8】 教：新きそリズム カードの取組について、積極的に子どもや保護者に啓発できたか。⇒64.3【93.3】 保：子どもの毎日の食生活は大切であると考え、実践している。⇒91.1【90.8】</p>	
成果と課題、今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に『新きそリズム カード』の取組が弱いことが分かった。今後、啓発の機会を設定していく。 ・ 保健室から定期的にたよりを発行し、健康面の啓発を推進してきた。 ・ けがの応急処置の方法、自然治癒力、歯の健康について、養護教諭により、各クラスで指導を行い、健康について実践的な力を身につけるようにしてきた。 ・ 夏には、保健委員が「熱中症指数」を計測して、全校に放送をして啓発した。また 2 学期には、新型コロナウイルス感染防止やインフルエンザ防止に関して「換気」や「手洗い・うがい」を促す放送を行った。 ・ 給食後の歯磨き指導によって、歯磨きが定着している。 	

② 生きる力の素地を支える体力づくりの推進		4・3・2・1
評価指標 (アンケート結果等)	<p>児：体育の授業は楽しいですか⇒92.2【97.3】 教：『体育の授業は、楽しい』と思える授業づくりに努めたか⇒80.0【100】 保：子どもの体力は、向上している。⇒73.8【73.1】</p>	
成果と課題、今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童、教師ともに楽しいと思える体育の授業づくりになっている。これは、「単縄跳び」や「大縄跳び」の取組の結果であると考えている。特に「大縄跳び」は、クラスで目標を決めて、休み時間も行っていることが、体育の授業に結びついていると思われる。 ・ 「新型コロナウイルス対策」の影響で、今年は、「スポーツ教室」を中止としたが、来年度は、実施したいと考えている。 	

③ 食育の推進		4・3・2・1
評価指標 (アンケート結果等)	<p>児：あなたは、毎日の生活の中で、食事に気をつけて生活していると思えますか⇒84.4【90.8】 教：食育推進計画に沿って、食育に取り組むことができたか⇒53.8【87.5】 保：子どもの毎日の食生活は大切であると考え、実践している。⇒91.1【90.8】</p>	
成果と課題、今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は、「新型コロナウイルス感染防止」により授業時間確保のため食育の授業が、例年の半分ほどしか実施できなかった。その代わりに、HPで「みえ地物一番給食の日」や「全国給食週間」で給食の献立を 13 紹介した。また、低学年を中心として「ミニ食育指導」で食材や食べ方などの指導を行った。 ・ 給食委員会の活動として、献立の紹介や「給食週間」や「みえ地物一番給食の日」などを「今日の給食のお知らせ」として毎日放送して、食への興味を啓発した。 ・ 今後も学校の給食指導だけでなく、食生活の改善は、家庭と学校の両面からのアプローチが大切であるので、児童の指導を通して家庭へも啓発していきたい。 ・ 食育推進計画に沿って具体的な食育の授業計画を作成し、担任・栄養教諭が連携して推進できた。 	

④ 生涯を通じたスポーツ活動の推進		4 ● 3 ● 2・1
評価指標 (アンケート結果等)	<p>児：これから生きていく中で、運動に親しむことは大切だと思いますか⇒96.3【97.0】</p> <p>教：体育の時間に校庭の遊具を使った運動に取り組むことができたか。⇒53.3【100.0】</p>	
成果と課題、今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって遊びや体育の授業が『生涯スポーツ』の入り口である。体育の授業が楽しいと答えている児童が80.03%いるので、運動すること＝楽しいと意識されることで、今後も運動を続けていきたいと考える児童が多いものと思われる。クラスで取り組む「大縄跳び」の成果でもある。 ・「スポーツ教室」で招いた一流アスリートの姿を見て、自分も「あんなりたい、あんなことをしたい」と思うようになり、それが、『生涯スポーツ』への意欲へとつながっていると考えているが、今年度は、「新型コロナウイルス対策」の影響で、今年中止とした。 	

㊦ 地域社会の一員として自覚をもち、木曾岬の良さを感じ、ともに生きる子ども（協働）

① コミュニティ・スクールの推進		4 ● 3 ● 2・1
評価指標 (アンケート結果等)	<p>教：「学校づくりビジョン」を意識して通信を発信できたか⇒42.9【75.0】</p> <p>教：『タイムマネジメントを意識した働き方』を実施しているか⇒53.3【72.0】</p> <p>保：学校はコミュニティ・スクールとして、保護者や地域と協働しながら子どもの育成に努めている。⇒91.1【92.4】</p> <p>保：学校は日常的に情報を発信している。⇒88.7【88.4】</p> <p>保：学校の教育活動等への協力はしたい。⇒79.7【76.6】</p>	
成果と課題、今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より学校目標を『地域とともに』と設定し、今まで以上に『地域』を意識した取り組みを行い、地域の中の学校であることを実践していきたい。 ・今年度は、コロナで地域の行事が中止になったのでできなかったが、地域の中の学校であることを意識するために、来年度は、地域の行事への児童の参加を記録していきたいと考える。 ・学校をサポートしていただくことが、最終的に児童の成長・地域への貢献とつながっていくと考えているので、昨年度末より『CS活動（コミュニティサポート）』を始め、今年度は、3回ほど実施した。 	

② 郷土教育の推進（地域活動への参加）		4 ● 3 ● 2・1
評価指標 (アンケート結果等)	<p>児：木曾岬町の人から教えてもらったことで、勉強になったなと思うことや、木曾岬町についてさらに考えたことはありますか⇒72.8【87.5】</p> <p>児：あなたは、木曾岬町が住みやすいよい町だと思いますか⇒96.7【89.5】</p> <p>教：地域や地域の人との関わりを持たせた学習に努めたか⇒66.7【78.9】</p> <p>保：学校は、地域と関わりをもった学習を進めている。⇒91.1【91.9】</p>	
成果と課題、今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、学年で重点的に取り組む『郷土教育』を決めて、地域の『人・もの・こと』の学習を進めている。しかし、今年度は、『臨時休校』『緊急警戒宣言』など、『人』の交流ができなかったため、1・2年生の交流事業ができなかった。このことが、教職員アンケートに表れている。地域へ発信する『CSだより』は、3枚発行できた。来年度は、学期に1枚ずつなどタイムリーに発行していきたい。 	

③ 防災・安全教育の推進		4・3・2・1
評価指標 (アンケート結果等)	教：保護者や地域との連携を意識した防災教育の実践に努めたか⇒62.5【56.5】 教：児童に常に生活安全・交通安全・災害安全を意識させたか⇒93.1【88.9】 保：学校は、安全・安心な対策を整えている。⇒89.9【83.4】	
成果と課題、今後の取組	・『臨時休校』後の7月に『児童引き渡し訓練』を行った。また4年生の郷土教育でも防災施設について学習を深めている。さらに11月の町の防災訓練に4年生が参加し経験を積んだ。	

④ 子どもの健全育成の推進		4 3 2・1
評価指標 (アンケート結果等)	児：あなたは近所の人に会ったとき、あいさつをしますか⇒88.5【96.1】 教：通信等は、「子育て8つの指針」を意識して発信することができたか。⇒57.1【84.6】 保：『子育て8つの指針』を自分の子育ての参考にしたことがある（している）。⇒58.3【48.8】	
成果と課題、今後の取組	・毎月テーマを決めて『子育て8つの指針』について学年だよりに掲載しているが、保護者アンケート『子育て8つの指針』を自分の子育ての参考にしたことがある（している）は、+9.5%である。保護者の方が、ご家庭で実践していることがうかがえる。	